

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【公表番号】特表 2011-500920 (P2011-500920A)

【公表日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-001

【出願番号】特願 2010-530066 (P2010-530066)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 14 日 (2011.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 5 ～ 9 5 重量部の、ペンダントビフェニル基を有するモノマーユニット、

b) 9 5 ～ 5 重量部のアルキル (メタ) アクリレートモノマーユニット、

c) 0 ～ 1 5 重量部の酸官能性モノマーユニット、

d) 0 ～ 1 5 重量部の極性モノマー、及び

e) 0 ～ 5 重量部のその他のモノマー、

を有するコポリマーであって、

前記モノマーの合計が 1 0 0 重量部である、コポリマーと、

所望により、可塑剤と、を含む、接着剤。

【請求項 2】

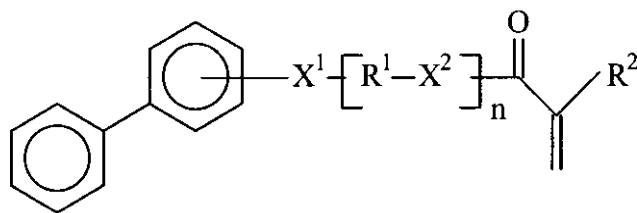
前記酸官能性モノマーユニットの量が 1 ～ 1 5 重量部である、請求項 1 に記載の接着剤

。

【請求項 3】

ペンダントビフェニル基を有する重合モノマーユニットが、式：

【化 1】



のものであり、

式中、

X¹ 及び X² はそれぞれ独立して、- O -、- S -、又は - N R³ - であり、R³ は H

又は $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、

R^1 は、1 以上のカテナリーエーテル酸素原子又はペンダントヒドロキシ基を任意に含有する 1 ~ 8 炭素のアルキレンであり、

n は 0 ~ 3 であり、

R^2 は H 又は CH_3 のいずれかである、請求項 1 に記載の接着剤。

【請求項 4】

n が 1 である、請求項 3 に記載の接着剤。

【請求項 5】

屈折率が少なくとも 1.50 である、請求項 1 に記載の接着剤。

【請求項 6】

芳香族モノマーと共重合可能な少なくとも 1 つの非酸含有極性モノマーを更に含む、請求項 1 に記載の接着剤。

【請求項 7】

前記酸官能性モノマーユニットが、アクリル酸、メタクリル酸、及びイタコン酸から選択される、請求項 2 に記載の接着剤。

【請求項 8】

架橋剤を更に含む、請求項 1 に記載の接着剤。

【請求項 9】

可塑剤を更に含み、前記可塑剤が少なくとも 1.5 の屈折率を有する、請求項 1 に記載の接着剤。

【請求項 10】

少なくとも 85 % の光学透過率値を有する、請求項 1 に記載の接着剤。